

エコアクション21 環境経営レポート

2023 年度

レポート対象期間
(2023年5月 1 日 ~ 2024年 4 月 30 日)

エコアクション21認証・登録範囲 産業廃棄物収集運搬業・中間処分業・建設業

株式会社 リサーチ

発行日 2024 年 6月 21日

1. 環境活動レポート 目次

項目及び内容	ページ
表紙（認証・登録範囲、レポート対象期間及び発行日）	
1. 環境活動レポート 目次	1
2. 組織の概要	
① 事業の概要	2
② 廃棄物処理業に関する情報公開項目	3-6
③ 実施体制	7
3. 代表者による経営における課題とチャンスの明確化	8
4. 環境方針	9
① フロン回収業務への取り組み	10
② SDGsへの取り組み	11
5. 環境目標	
① 中期目標	12-14
② 短期目標	15-17
6. 環境活動計画	
① 主要な活動計画	18
② 2023年度環境活動計画表	19
7. 環境目標(短期)の実績評価	
① 実績・評価 全社	20
② 実績・評価 産廃事業部・総務課	21-22
③ 実績・評価 工事事業部	23
8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度取組内容	
① 2023年度環境活動計画実施状況確認表	24
② 問題点の是正及び予防処置の結果	25
③ 2024年度環境活動計画表	26
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価及び違反・訴訟の有無	27-28
10. 代表者による全体評価と見直しの結果	29
11. 地域貢献奉仕活動の記録	30
12. グリーン購入推進	31

2. 組織の概要

2-① 事業の概要

【1】会社名 株式会社 リサーク

【2】代表者 代表取締役社長 齊藤 大助

【3】所在地 事務所 静岡県富士市大野28-1
中間処分場 静岡県富士市大野28-1、29

【4】資本金 1,000万円

【5】設立年月日 平成18年5月31日

【6】環境管理の責任者及び担当者氏名、連絡先

環境管理責任者 取締役統括部長 鈴木 伯幸
環境管理担当者 産廃事業部 営業課 櫻井 竜弥

TEL : 0545-32-0111

FAX : 0545-32-1498

E-MAIL : ns-rcc@vc.tnc.ne.jp

ホームページ : <http://www.recirc.net/>

【7】事業内容 【産業廃棄物の収集運搬及び中間処分業】
許可番号等については2-②「廃棄物処理業に関する情報公開項目」参照

【建設業】
許可番号 : 静岡県知事許可(般-5)第38166号
許可の有効期間 : 令和5年4月25日から令和10年4月24日まで
建設業の種類 : とび・土工、解体工事業

【古物商】
交付番号 : 第49110A000358号

【8】事業の規模

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
従業員	人	28	26	27
敷地面積	m ²	3062.14	3062.14	3062.14

各事業年度 期首5月1日 期末4月30日

【9】活動規模

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
収集運搬量	t	7,432.15	7,709.25	7,535.78
中間処分量	t	10,405.06	10,760.36	9,556.00
工事等件数	件	1,076	1,779	2,086
売上高(全体)	百万円	640.6	692.3	687.3
売上高(工事等)	百万円	298.0	341.4	318.3

各事業年度 期首5月1日 期末4月30日

【10】処理料金 廃棄物の性状、運搬方法により料金が異なりますのでご相談ください。
御見積りは、無料で提出させていただきます。

2-② 廃棄物処理業に関する情報公開項目

【1】産業廃棄物収集運搬・処分取得許可

取得地域	許可番号	許可取得	許可期限	許可品目
静岡県産業廃棄物 収集運搬業 (優良)	第02202129734号	平成18年12月7日	令和3年7月18日～ 令和10年7月17日	廃プラスチック類(※1※2)、金属くず(※2)、 ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(※1※2)、がれ き類(※1)、燃え殻、汚泥(※2)、廃油、紙く ず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ばいじん 以上12品目 ※1：石綿含有廃棄物を含む。 ※2：水銀使用製品産業廃棄物を含む。
埼玉県産業廃棄物 収集運搬業 (優良)	第01102129734号	平成19年12月20日	令和4年12月27日～ 令和11年12月19日	汚泥、廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊 維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コン クリートくず(がれき類を除く。)及び陶磁器くず、が れき類 以上10種類
神奈川県産業廃棄 物収集運搬業 (優良)	第01400129734号	平成26年2月18日	令和6年2月27日～ 令和13年2月17日	燃え殻、汚泥(※1※2)、廃油、廃プラスチック 類(※1※2)、紙くず、木くず、繊維くず、金属く ず(※2)、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(※1 ※2)、がれき類(※1)、ばいじん ※1：石綿含有廃棄物を含む。 ※2：水銀使用製品産業廃棄物を含む。 ※3：水銀含有ばいじん等含む
山梨県産業廃棄物 収集運搬業 (優良)	第01900129734号	平成31年2月25日	令和6年2月25日～ 令和13年2月24日	廃油、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維く ず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除 く。及び陶磁器くず、がれき類 以上8種類 ※ただし、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製 品産業廃棄物を含み、水銀含有ばいじん等を含 まない。

取得地域	許可番号	許可取得	許可期限	許可品目
静岡県産業廃棄物 処分業 (中間処分) (優良)	第02221129734	平成18年12月7日	令和3年7月18日～ 令和10年7月17日	廃プラスチック類(※1)、金属くず(※ 1)、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器く ず(※1)、がれき類、紙くず、木くず、繊維く ず ※1：水銀使 用製品産業廃棄物(廃蛍光管)を含む

【2】施設等の状況

収集運搬車両および構内作業車両等 (積み替え保管施設無し)

車両及び重機種類	最大積載量等	台数	備考
脱着装置付コンテナ専用車	15,000kg以下	2	収集運搬許可車両
	4,000kg以下	3	収集運搬許可車両
キャブオーバー	3,000kg以下	3	収集運搬許可車両
	4,000kg以下	2	収集運搬許可車両
ダンプ	2,000kg以下	4	収集運搬許可車両
軽自動車	—	2	〔産廃部門〕 使用営業車両
軽自動車	—	2	〔工事部門〕 使用営業車両
軽バン	300kg	2	〔工事部門〕 使用営業車両
軽トラ	350kg	1	〔工事部門〕 使用営業車両
バン	1,000kg	1	〔工事部門〕 使用営業車両
フォークリフト	2.5t	2	構内作業車両
ホイローダ	1.3㎡	1	構内作業車両
車両系建設機械	0.45㎡	2	構内作業及び工事車両
	0.7㎡	1	構内作業車両

処 理 施 設

2024年4月30日現在

施設の種類・方式	産業廃棄物の種類	処理能力
破碎施設① シングルトルグ クラッシャ	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	197.44 t/日(8.0時間)
	がれき類	276.80 t/日(8.0時間)
破碎施設② 二軸せん断式	廃プラスチック類	4.69 t/日(8.0時間)
	金属くず	4.88 t/日(8.0時間)
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	4.75 t/日(8.0時間)
	紙くず	3.63 t/日(8.0時間)
	木くず	4.28 t/日(8.0時間)
	繊維くず	1.66 t/日(8.0時間)
破碎施設③ 二軸せん断式	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	8.76 t/日(8.0時間)
	紙くず(廃石膏ボード)	0.68 t/日(8.0時間)
破碎施設④ 水銀捕集バグフィル ター装備	廃プラスチック類 (廃蛍光管に限る)	0.03 t/日(8.0時間)
	金属くず (廃蛍光管に限る)	0.06 t/日(8.0時間)
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (廃蛍光管に限る)	1.81 t/日(8.0時間)
圧縮梱包施設	廃プラスチック類	14.48 t/日(8.0時間)
	紙くず	16.59 t/日(8.0時間)

【3】処 理 実 績

2023年度収集運搬実績

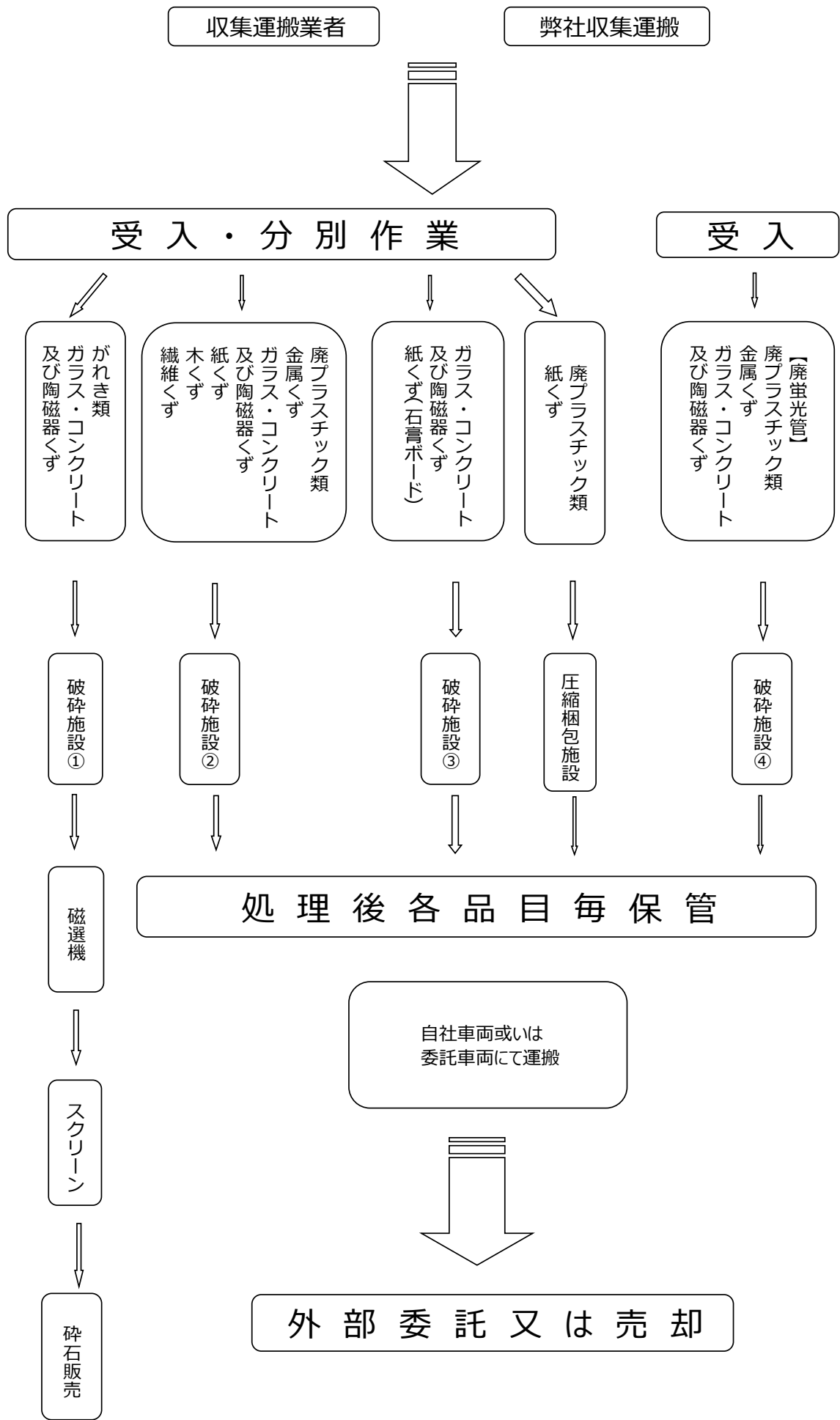
産業廃棄物の種類	収集運搬実績 (t)	
廃プラスチック類	1,464.91	
紙くず	219.27	
木くず	861.00	
繊維くず	6.54	
金属くず	181.97	
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1,321.44	
がれき類	2,138.51	
石膏ボード	484.36	
水銀使用製品産業廃棄物 (金属くず)	1.18	
水銀使用製品産業廃棄物 (ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	1.11	
燃え殻	9.12	
汚泥	706.44	
廃油	0.10	
石綿含有産業廃棄物 (廃プラスチック類)	6.93	
石綿含有産業廃棄物 (ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	3.71	
石綿含有産業廃棄物 (がれき類)	128.34	〈左記色付き部分のみの集計〉
廃乾電池類	0.85	
合 計	7,535.78	846.37

※色付き分は運搬業務のみの品目、⑦-1実績評価内【2】受託産業廃棄物量に含む

2023年度処理実績

産業廃棄物の種類	処分方法	処理実績 (t)
廃プラスチック類	破碎・圧縮梱包	1,917.19
紙くず	破碎・圧縮梱包	228.52
木くず	破碎	990.25
繊維くず	破碎	33.98
金属くず	破碎	232.08
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	破碎	2,239.37
がれき類	破碎	3,315.04
石膏ボード	破碎	595.58
水銀使用製品産業廃棄物 (廃プラスチック類)	破碎	0.00
水銀使用製品産業廃棄物 (金属くず)	破碎	2.43
水銀使用製品産業廃棄物 (ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず)	破碎	1.56
	合 計	9,556.00

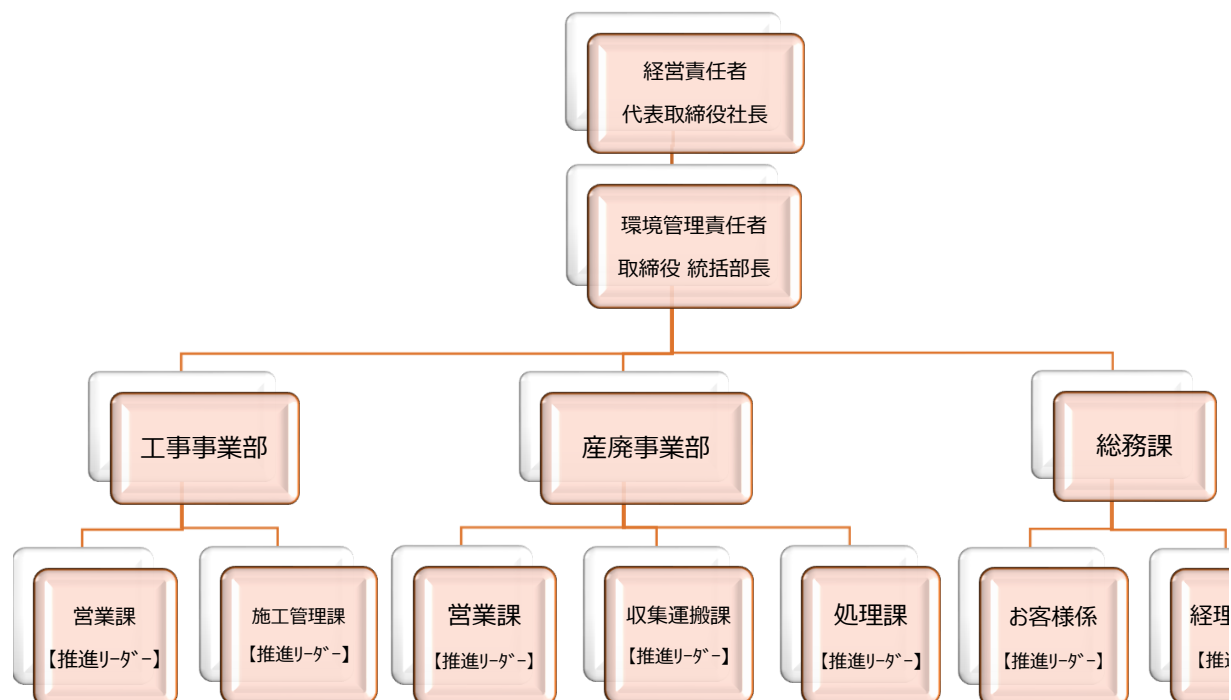
【4】 処 理 工 程 図



2-③ 実施体制

制定 平成21年10月1日

改定 令和 4年4月1日



《環境管理組織における機能》

経営責任者
① 環境経営全般に対する責任と権限 ② 環境方針の作成と社員への周知 ③ 全体の評価と見直し指示 ④ 実施体制の構築 ⑤ 代表者による経営における課題とチャンスの明確化

環境管理責任者
① 環境経営活動の推進 ② 環境目標及び環境計画の作成 ③ 環境経営推進会議の実施 ④ 経営者への進捗報告

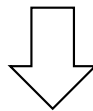
工事事業部・産廃事業部・総務課
① 環境計画の実施 ② 月別部門データの集計 ③ 問題点の把握と是正の実施 ④ 推進会議の出席 ⑤ 従業員教育

3. 代表者による経営における課題とチャンスの明確化

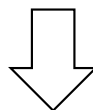
作成日： 2023 年 4 月 10 日

課題とチャンスの整理（S W O T 分析）

	Strengths（強み）	Weakenesses（弱み）
	・優良産廃業者許可の認定保持 ・工事事業部～産廃事業部への仕事一本化	・経験のある人材の確保 ・設備規模で競合他社に負ける設備がある ・処理困難物に対する対応不足
外部	Opportunities（機会）	Threat（脅威）
	・アスベスト対策（2023年10月追加施行）対応による調査依頼の増加 ・アスベスト対策（2023年10月追加施行）対応新規工法による工事受注増加	・社員の技能不足による他社との競争力低下 ・処分場の減少による処分費の高騰 ・公共工事の減少による再生砕石の需要減



環境経営方針	・SDGs（持続可能な開発目的）への取り組みの本格化 ・環境法令に関するより高度のコンプライアンス ・事務におけるデジタルトランスフォーメーション
環境経営目標	・SDGs（持続可能な開発目的）への取り組みの周知、仕組みづくり ・環境法令に関する幹部社員のスキルアップ ・電子書面（契約書、マニフェスト等）にデジタル対応する仕組みづくり



今後の予定	・SDGs宣言を、取引業者等へ周知、社員教育 ・幹部社員に対する継続的な研修 ・今期中に電子契約化のプラットフォーム調査と契約
-------	---

4. 環境経営方針

制定 平成 21 年 10 月 1 日

改定 令和 2 年 7 月 24 日

改定 令和 4 年 4 月 1 日

株式会社リサーク 環境経営方針

[環境経営理念]

株式会社リサークは、産業廃棄物処理業および工事業を経営するにあたり、地球温暖化問題、資源の枯渇問題の解決に取り組むことが重要課題であることを踏まえ、自主的かつ積極的に、社員一丸となって環境に配慮した経営への取組みを推進します。

[基本方針]

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した継続的な活動を展開いたします。

1. 環境負荷低減活動の取組みを行い、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排水量の削減に努めます。
 - 1) 電気、化石燃料、廃棄物、水の使用削減に取り組めます。
 - 2) グリーン購入を実施します。
2. 環境関連法規制等を遵守いたします。
3. 環境に配慮した製品製造・サービス提供に取り組めます。
 - 1) 環境に配慮し、細かい選別により廃棄物のリサイクル率を引き上げます。
 - 2) フロン回収業の業務を行います。
 - 3) 工事業におけるアスベスト事前調査業務を行います。
4. 環境コミュニケーションの積極的実施を行います。
 - 1) 環境活動レポートの社外への公開、および産廃ネットによる情報公開を通し、利害関係者とのコミュニケーション向上に努めます。
 - 2) エコアクション21による環境マネジメントシステムを活用した社員教育を実施します。
 - 3) SDGsへの取組みを社内外に公表します。

改定 令和 4 年 4 月 1 日

株式会社 リサーク

代表取締役社長

齊藤大助

4-① フロン回収業務への取り組み

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律の改正が行われ、2020年4月1日より施行されました。法改正に伴い、弊社では自社でフロン回収業務を行えるよう**第一種フロン類充填回収業者の登録**を行いました。

これにより、外部に回収依頼をしていた場合に比べ、コストを削減することが可能となり、解体工事受注の際、フロン回収を自社で行えることにより、顧客獲得の強みを図りました。



第一種フロン類充填回収業者登録通知書

環政第1-338号
令和2年12月7日

住所 静岡県富士市大野28番地の1

氏名 株式会社リサーク
代表取締役 齊藤 大助 様

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律第28条第2項の規定により、
第一種フロン類充填回収業者として登録したことを通知します。

静岡県知事 川勝 平太 

登録番号	静岡 102377	登録年月日	令和2年12月7日 (西暦2020年12月7日)			
		有効期間満了年月日	令和7年12月6日 (西暦2025年12月6日)			
事業所の名称		特定製品の 種類(注)	フロン類の種類			
事業所の所在地			CFC	HCFC	HFC	
1 株式会社リサーク		回収(1)	○	○	○	
		回収(2)	○	○	○	
		回収(3)	○	○	○	
静岡県富士市大野28番地の1		充填(1)	-	-	-	
		充填(2)	-	-	-	

全1事業所

(注) 特定製品の種類： (1) エアコンディショナー ((3) に該当するものを除く。)
(2) 冷蔵機器・冷凍機器 ((3) に該当するものを除く。)
(3) フロン類の充てん量が50kg以上の第一種特定製品

4-② SDGsへの取り組み



SDGs宣言書

株式会社リサーク

2022年3月4日

当社はSDGsの内容を理解し、
SDGs達成に向けた取り組みを下記のとおり宣言します。

取り組みカテゴリー	SDGs達成に向けた重点的な取組テーマ	2030年に向けた目標	具体的な取り組み
人権・労働	ハラスメントの禁止 	●ハラスメント対応担当者を選任し、ハラスメントに関するマニュアルの作成、研修の実施により、社内に周知徹底を行います。	
環境	3Rの推進 	●協力会社（出荷先）の新規開拓を行い、リサイクル率の更なる向上を図ります。	
公正な事業慣行組織体制	サプライチェーン管理・事業継続 	●下請企業の環境方針への取り組みを定期的に確認します。 ●BCP（事業継続計画）の策定と計画に基づく準備実行を行います。	
製品・サービス	環境配慮製品・品質保証 	●適切な廃棄物の処理を行うため、関連する法律を遵守したサービスの提供を目指します。 ●お取引先の苦情、要望に対応するためマニュアルを作成し、サービスの品質向上を図ります。	
社会貢献 地域貢献	社会貢献活動・地域への影響の配慮 	●地元地域における美化活動（道路清掃・草刈）を行います。 ●当社事業の地域への影響を把握し、対外的に公表します。	



SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。17のゴール（目標）と169項目のターゲット（達成基準）から構成され、政府・企業・地域社会のあらゆる人がSDGsを実現するための役割を担っています。

5-① 中期目標

《全社》

【1】売上百万円当りの二酸化炭素排出量

項目	基準年度実績	単位	中期環境目標			
	2022年度(基準年度)		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
売上百万円当りの 二酸化炭素排出量	490.40	kg-CO2/百万円	490.35	490.34	490.33	490.31
	削減率		0.0100%	0.0125%	0.0150%	0.0175%

5-① 中期目標

《産廃事業部・総務課》

【1】産廃部門売上百万円当りの二酸化炭素排出量

項目	基準年度実績	単位	中期環境目標			
	2022年度(基準年度)		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
産廃部門売上百万円当りの二酸化炭素排出量	725.29	kg-CO2/百万円	724.93	724.56	724.42	724.20
	削減率%		0.05%	0.10%	0.12%	0.15%

【2】リサイクル率の向上

項目	基準年度実績	単位	中期環境目標			
	2022年度(基準年度)		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
①受託産業廃棄物(全体)のリサイクル率の向上	77.72%	%	77.76%	77.76%	77.76%	77.76%
	向上率		0.050%	0.050%	0.050%	0.050%
②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	38.45%	%	38.47%	38.49%	38.49%	38.50%
	向上率		0.050%	0.100%	0.100%	0.120%

【3】がれき処理1 t 当たりの水道水使用量

項目	基準年度実績	単位	中期環境目標			
	2022年度(基準年度)		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
がれき処理1 t 当たりの水道水使用量	0.05076	m ³ /t	0.05071	0.05071	0.05071	0.05071
	削減率%		0.100%	0.100%	0.100%	0.100%

【4】環境資源削減

項目	基準年度実績	単位	中期環境目標			
	2022年度(基準年度)		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
①紙使用量削減	130.60	k g	130.47	130.44	130.40	130.34
	削減率%		0.10%	0.12%	0.15%	0.20%

項目	基準年度実績	単位	中期環境目標			
	2022年度(基準年度)		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
②事業系一般廃棄物排出量削減	155.20	k g	155.04	155.01	154.97	154.89
	削減率%		0.10%	0.12%	0.15%	0.20%

【5】産廃部門燃費の向上

項目	基準年度実績	単位	中期環境目標			
	2022年度(基準年度)		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
収集運搬車両(軽油)	4.737	km/ℓ	4.775	4.742	4.743	4.744
	向上率		0.80%	0.10%	0.12%	0.15%
営業車(ガソリン)	19.920	km/ℓ	20.079	19.940	19.944	19.950
	向上率		0.80%	0.10%	0.12%	0.15%
構内使用車両(軽油)	9.157	min/ℓ	9.230	9.166	9.168	9.171
	向上率		0.80%	0.10%	0.12%	0.15%
構内使用車両(A重油)	5.844	min/ℓ	5.891	－ ※1	－ ※1	－ ※1
	向上率		0.80%	－ ※1	－ ※1	－ ※1

※1 A重油を使用するバックホーを廃止したため

5-① 中期目標

《工事事業部》

【1】工事部門売上百万円当たりの二酸化炭素排出量・エネルギー使用量

項目	基準年度実績	単位	中期環境目標			
	2022年度(基準年度)		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
工事部門売上百万円当たりの 二酸化炭素排出量	249.00	kg-CO2/ 百万円	248.88	248.80	248.75	248.70
	削減率%		0.05%	0.08%	0.10%	0.12%
①工事部門売上百万円当たりの 軽油使用量	72.23	ℓ/百万円	72.19	72.17	72.16	72.14
	削減率%		0.05%	0.08%	0.10%	0.12%

【2】工事部門車両燃費向上

項目	基準年度実績	単位	中期環境目標			
	2022年度(基準年度)		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
工事使用車両(軽油)	4.770	km/ℓ	4.808	4.775	4.776	4.777
	向上率		0.80%	0.10%	0.12%	0.15%
工事使用車両(ガソリン)	13.288	km/ℓ	13.394	13.301	13.304	13.308
	向上率		0.80%	0.10%	0.12%	0.15%

【2】廃棄物削減

現場における廃棄物分別の徹底	・廃棄物分別方法の講習の実施
	・廃棄物分別方法の表示

5-② 短期目標

《全社》

【1】売上百万円当りの二酸化炭素排出量

項目	基準年度実績	単位	短期環境目標
	2022年度(基準年度)		2023年度
売上百万円当りの 二酸化炭素排出量	490.40	kg-CO2/百万円	490.35
	削減率%		0.01%

5-② 短期目標

《産廃事業部・総務課》

【1】産廃部門売上百万円当りの二酸化炭素排出量

項目	基準年度実績	単位	短期環境目標
	2022年度(基準年度)		2023年度
産廃分門売上百万円当りの二酸化炭素排出量	725.29	kg-CO2/ 百万円	724.93
	削減率%		0.05%

【2】リサイクル率の向上

項目	基準年度実績	単位	短期環境目標
	2022年度(基準年度)		2023年度
①受託産業廃棄物(全体)のリサイクル率の向上	77.72%	%	77.76%
	向上率%		0.050%
②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	38.45%	%	38.47%
	向上率%		0.050%

【3】がれき類処理1 t 当たりの水道水使用量

項目	基準年度実績	単位	短期環境目標
	2022年度(基準年度)		2023年度
がれき類処理1 t 当たりの水道水使用量	0.05076	m ³ /t	0.05071
	削減率%		0.10%

【4】環境資源削減

項目	基準年度実績	単位	短期環境目標
	2022年度(基準年度)		2023年度
①紙使用量削減	130.60	k g	130.47
	削減率%		0.10%
②事業系一般廃棄物排出量削減	155.20	k g	155.04
	削減率%		0.10%

【5】産廃部門燃費の向上

項目	基準年度実績	単位	短期環境目標
	2022年度(基準年度)		2023年度
収集運搬車両(軽油)	4.737	km/ℓ	4.775
	向上率%		0.80%
営業車(ガソリン)	19.920	km/ℓ	20.079
	向上率%		0.80%
構内使用車両(軽油)	9.157	min/ℓ	9.230
	向上率%		0.80%
構内使用車両(A重油)	5.844	min/ℓ	5.891
	向上率%		0.80%

5-② 短期目標

《工事事業部》

【1】工事部門売上百万円当たりの二酸化炭素排出量・エネルギー使用量

項目	基準年度実績	単位	短期環境目標
	2022年度(基準年度)		2023年度
工事部門売上百万円当たりの 二酸化炭素排出量	249.00	kg-CO2/ 百万円	248.88
	削減率%		0.05%
①工事部門売上百万円当たりの 軽油使用量	72.23	ℓ/百万円	72.19
	削減率%		0.05%

【2】工事部門燃費の向上

項 目	基準年度実績	単位	短期環境目標
	2022年度(基準年度)		2023年度
工事使用車両(軽油)	4.770	km/ℓ	4.808
	向上率%		0.80%
工事使用車両(ガソリン)	13.288	km/ℓ	13.394
	向上率%		0.80%

【3】廃棄物削減

現場における廃棄物分別の徹底	・廃棄物分別方法の講習の実施
	・廃棄物分別方法の表示

6. 環境活動計画

6-① 主要な活動計画 ※は中期目標関連項目

《産廃事業部・総務課》

【1】リサイクル率の向上※

2023年5月～2024年4月

目標	SDGs	活動	実行者
①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)の リサイクル率の向上	  	・リサイクルルートの確保	統括部長 処理課
		・受託産業廃棄物の分別の徹底	統括部長 処理課
		・顧客への分別提案	統括部長 処理課
		・毎月のリサイクル率把握	統括部長 処理課

【2】がれき類処理1 t 当たりの水道水使用量※

目標	SDGs	活動	実行者
水使用量の削減		・「節水」の表示	統括部長 処理課
		・節水こまの設置	統括部長 処理課
		・水漏れ点検の実施	統括部長 処理課

【3】環境資源削減※

目標	SDGs	活動	実行者
①紙使用量削減	   	・コピー用紙の両面使用	全従業員
		・裏紙使用の徹底	全従業員
		・ペーパーレス化	全従業員
②事業系一般廃棄物排出量削減		・リサイクルボックスの設置・利用	総務課 課長

【4】二酸化炭素排出量の削減

目標	SDGs	活動	実行者
二酸化炭素排出量の削減		・冷暖房管理 夏26℃ 冬24℃	全従業員
		・待機電力、不使用時の電源オフ	全従業員
		・不要照明の消灯の徹底	全従業員
		・中間処分施設設備稼働時間管理	統括部長 処理課
		・二酸化炭素排出係数の低い電力会社の選定、利用	統括部長 処理課
		・エコドライブの徹底	各運転手
		・アイドリングストップ	各運転手
		・効率的なルートの選択	各運転手
		・燃費データの把握	収集運搬課 課長
		・タイヤ空気圧の定期点検	各運転手
		・作業場重機のアイドリングストップ	各運転手
		・無駄な操作、動作厳禁（作業場内）	各運転手

《工事事業部》

【1】工事等現場における環境活動※

目標	SDGs	活動	実行者
二酸化炭素排出量の削減	 	・エコドライブの徹底	各運転手
		・アイドリングストップ	各運転手
		・効率的なルートの選択	各運転手
		・燃費データの把握	産廃事業部 収集運搬課 課長
		・タイヤ空気圧の定期点検	各運転手
		・作業場重機のアイドリングストップ	工事事業部 及び協力会社
		・無駄な操作、動作厳禁（作業場内）	工事事業部 及び協力会社

【2】廃棄物削減※

目標	SDGs	活動	実行者
現場における廃棄物分別の徹底	 	・廃棄物分別方法の講習の実施	工事事業部 部長
		・廃棄物分別方法の表示	工事事業部 部長

☆事務用品等のグリーン購入は、優先的に購入しているため目標活動から外す。

6-② 2023年度 環境活動計画表

《産廃事業部・総務課》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	実行者	2023.5～2024.4実施スケジュール												
					2023.5	2023.6	2023.7	2023.8	2023.9	2023.10	2023.11	2023.12	2024.1	2024.2	2024.3	2024.4	
【1】リサイクル率の向上	①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上		・リサイクルルートの確保	統括部長 処理課					↑				↑				↑
			・受託産業廃棄物の分別の徹底	統括部長 処理課													
			・顧客への分別提案	統括部長 処理課													
			・毎月のリサイクル率把握	統括部長 処理課													
【2】がれき類処理1 t 当たりの水道水使用量	水使用量の削減		・「節水」の表示	統括部長 処理課													
			・節水こまの設置	統括部長 処理課													
			・水漏れ点検の実施	統括部長 処理課													
【3】環境資源削減	①紙使用量削減		・コピー用紙の両面使用	全従業員													
			・裏紙使用の徹底	全従業員													
			・ペーパーレス化	全従業員													
		②事業系一般廃棄物 排出量削減		・リサイクル缶の設置・利用	総務課 課長												
【4】二酸化炭素 排出量の削減 水使用量の削減		①購入電力削減		・冷暖房管理 夏26℃ 冬24℃	全従業員												
	・待機電力、不使用時の 電源オフ			全従業員													
	・不要照明の消灯の徹底			全従業員													
	・中間処分施設機械 稼働時間管理			統括部長 処理課													
	・二酸化炭素排出係数の低い 電力会社の選定、利用			統括部長 処理課													
	②化石燃料削減		・エコドライブの徹底	各運転手													
			・アイドリングストップ	各運転手													
			・効率的なルートの選択	各運転手													
			・燃費データの把握	収集運搬課 課長													
			・タイヤ空気圧の定期点検	各運転手													
・作業場重機の アイドリングストップ	各運転手																
・無駄な操作、動作厳禁 (作業場内)	各運転手				↓				↓				↓				

《工事事業部》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	実行者	2023.5～2024.4実施スケジュール											
					2023.5	2023.6	2023.7	2023.8	2023.9	2023.10	2023.11	2023.12	2024.1	2024.2	2024.3	2024.4
【1】二酸化炭素排出量の削減	①化石燃料削減	 	・エコドライブの徹底	各運転手				↑				↑				↑
			・アイドリングストップ	各運転手												
			・効率的なルートの選択	各運転手												
			・燃費データの把握	産廃事業部 収集運搬課 課長				認進捗状況確認				認進捗状況確認				認進捗状況確認
			・タイヤ空気圧の定期点検	各運転手												
			・作業場重機のアイドリングストップ	工事事業部 及び 協力会社												
			・無駄な操作、動作厳禁(作業場内)	工事事業部 及び 協力会社												
【2】廃棄物削減	現場における廃棄物分別の徹底	 	・廃棄物分別方法の講習実施	工事事業部 部長				↓				↓				↓
			・廃棄物分別方法の表示	工事事業部 部長												

7. 環境経営目標(短期)の実績評価

【7-① 実績・評価 全社】

【1】売上百万円当りの二酸化炭素排出量

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2023年度		2023年5月～2024年4月		
売上百万円当りの二酸化炭素排出量	490.35	kg-CO2/百万円	508.62	×	各部門の評価を参照。
	削減率%		-3.7%		

達成記号の基準

- ・達成から未達成1%未満は○
- ・未達成1%以上 3 %未満は△
- ・未達成 3 %以上は×

【実績データ】

【1】二酸化炭素排出量

項目	基準年度実績	単位	実績
	2022年度		2023年5月～2024年4月
総排出量	339,505.0	kg-CO2	349,572.6

【2】売上データ

項 目	基準年度実績		実績
	2022年度	単位	2023年5月～2024年4月
売上	692.3	百万円	687.3

7. 環境経営目標(短期)の実績評価

【7-② 実績・評価 産廃事業部・総務課】

【1】産廃部門売上百万円当りの二酸化炭素排出量

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2023年度		2023年5月～2024年4月		
産廃部門売上百万円当りの二酸化炭素排出量	724.93	kg-CO2/ 百万円	725.91	○	ほぼ達成出来ました。
	削減率%		-0.1%		

【2】リサイクル率の向上

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2023年度		2023年5月～2024年4月		
①受託産業廃棄物(全体)のリサイクル率の向上	77.76%	%	74.78%	×	全国的に公共工事の減少により再生砕石の需要が低下している為、がれき類の搬出先で受け入れ制限がかかり、最終処分場行きが増加しました。来年度以降も見通しが立たない為、目標を是正する予定です。
	向上率%		-3.0%		
②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	38.47%	%	38.09%	○	ほぼ目標達成できました。
	向上率%		-0.4%		

【3】がれき類処理1 t 当たりの水道水使用量

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2023年度		2023年5月～2024年4月		
がれき類処理1 t 当たりの水道水使用量	0.05071	m ³ /t	0.06191	×	販売先の粉塵防止要請により散水量が大幅に増えたことによります。
	削減率%		-22.10%		

【4】環境資源削減

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2023年度		2023年5月～2024年4月		
①紙使用量削減	130.47	k g	106.60	○	昨年未達成だったが、全社員の意識が改善され達成できました。
	削減率%		18.3%		
②事業系一般廃棄物排出量削減	155.04	k g	118.80	○	目標達成出来ました。
	削減率%		23.4%		

【5】産廃部門燃費の向上

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2023年度		2023年5月～2024年4月		
収集運搬車両(軽油)	4.775	km/ ℓ	4.741	○	アイドリングストップ等を強化し停車時はエンジンを切るなど個々の意識が改善されました。
	向上率%		-0.70%		
営業車(ガソリン)	20.079	km/ ℓ	19.926	○	アイドリングストップ等を強化し停車時はエンジンを切るなど個々の意識が改善されました。
	向上率%		-0.77%		
構内使用車両(軽油)	9.230	min/ ℓ	9.159	○	夏場の猛暑により作業中のアイドリングストップによるエアコン中止時間が短くなりました。
	向上率%		-0.77%		
構内使用車両(A重油)	5.891	min/ ℓ	5.873	○	夏場の猛暑により作業中のアイドリングストップによるエアコン中止時間が短くなりました。
	向上率%		-0.29%		

達成記号の基準 ・達成から未達成1%未満は○

・未達成1%以上 3 %未満は△

・未達成 3 %以上は×

7. 環境経営目標(短期)の実績評価2

【実績データ】

【1】二酸化炭素排出量

項目	基準年度実績	単位	実績	次年度目標
	2022年度(基準年度)		2023年5月～2024年4月	
総排出量	254,504.5	kg-CO2	267,870.7	軽油の使用量削減
①購入電力による二酸化炭素排出量	22,414	kg-CO2	20,301	全従業員に節電意識を高め削減を図る
排出係数 日本テクノ : 0.465 (2024年度4月現在)	48,273	k w h	43,659	
②化石燃料使用による 二酸化炭素排出量 排出係数 ガソリン : 2.32 軽油 : 2.59 A重油 : 2.71	化石燃料使用による 二酸化炭素排出量	kg-CO2	化石燃料使用による 二酸化炭素排出量	
	232,090.0		247,569.3	
	ガソリン	ℓ	ガソリン	
	1,738.1		1,985.1	
	軽油	ℓ	軽油	
	85,765.9		92,802.3	
	A重油	ℓ	A重油	
	2,305.0		1,090.0	

【2】受託産業廃棄物量・水使用量

項 目	基準年度実績		実績	次年度目標
	2022年度(基準年度)	単位	2023年5月～2024年4月	
受託産業廃棄物排出量	10,760.36	t	9556.00	
がれき処理量	6681.8	t	5554.4	
水道水	339.2	m ³	343.9	

【3】産廃部門売上データ

項 目	基準年度実績		実績	次年度目標
	2022年度(基準年度)	単位	2023年5月～2024年4月	
産廃売上	350.9	百万円	369.0	値上げ効果もあると思いますが、営業努力を続ける

7. 環境経営目標(短期)の実績評価

【7-③ 実績・評価 工事業部】

【1】工事部門売上百万円当たりの二酸化炭素排出量・エネルギー使用量

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2023年度		2023年5月～2024年4月		
工事部門売上百万円当たりの二酸化炭素排出量	248.88	kg-CO2/ 百万円	256.70	△	利益確保のため、下請業者に委託していた現場排出産業廃棄物収集運搬業務の一部を自社にて行ったため、売上に比して軽油使用量が増えて増加しました。来年度は、売上と利益のバランスを見て、適宜、収集運搬方法を検討します。
	削減率%		-3.1%		
①工事部門売上百万円当たりの軽油使用量	72.19	ℓ/百万円	75.56	×	同上
	削減率%		-4.7%		

【2】工事部門燃費向上

項目	短期環境目標	単位	実績	達成	評価
	2023年度		2023年5月～2024年4月		
工事部門使用車両(軽油)	4.808	km/ℓ	4.775	○	ほぼ目標達成出来ました。
	向上率%		-0.70%		
工事部門使用車両(ガソリン)	13.394	km/ℓ	13.291	○	ほぼ目標達成できました。
	向上率%		-0.8%		

達成記号の基準 ・達成から未達成1%未満は○

・未達成1%以上 3%未満は△

・未達成3%以上は×

【3】廃棄物削減

項目	短期環境目標	達成	評価
現場における廃棄物分別の徹底	・廃棄物分別方法の講習の実施	○	現場にて講習・掲示を実施しました。
	・廃棄物分別方法の表示	○	

【実績データ】

【1】二酸化炭素排出量

項目	実績	単位	実績	次年度目標
	2022年度(基準年度)		2023年5月～2024年4月	
総排出量	8,500.5	kg-CO2	81,701.9	車両台数が増えた為、アイドリングストップ徹底
化石燃料使用による二酸化炭素排出量 排出係数 ガソリン： 2.32 軽油： 2.59	化石燃料使用による二酸化炭素排出量	kg-CO2	化石燃料使用による二酸化炭素排出量	軽油の使用量削減を強化していく
	8,500.5	ℓ	81,701.9	
	ガソリン		ガソリン	
	9,146.0	ℓ	8,401.6	
	軽油		軽油	
	24,656.5		24,049.1	

【2】工事売上データ

項目	実績	単位	実績	次年度目標
	2022年度(基準年度)		2023年5月～2024年4月	
工事売上	341.4	百万円	318.3	・アスベスト関連の業務の拡大と営業努力による顧客増加

8. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度取組内容

8-①2023年度環境活動計画実施状況確認表

《産廃事業部・総務課》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	実行者	2023.5～ 2024.4
【1】リサイクル率の向上	①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	  	・リサイクルルートの確保	統括部長 処理課	△
			・受託産業廃棄物の分別の徹底	統括部長 処理課	○
			・顧客への分別提案	統括部長 処理課	○
			・毎月のリサイクル率把握	統括部長 処理課	○
【2】がれき処理1 t 当たりの水道水使用量	水使用量の削減		・「節水」の表示	統括部長 処理課	○
			・節水こまの設置	統括部長 処理課	○
			・水漏れ点検の実施	統括部長 処理課	○
【3】環境資源削減	①紙使用量削減	   	・コピー用紙の両面使用	全従業員	○
			・裏紙使用の徹底	全従業員	○
			・ペーパーレス化	全従業員	○
	②事業系一般廃棄物排出量削減		・リサイクルボックスの設置・利用	総務課 課長	○
【4】二酸化炭素排出量の削減 水使用量の削減	①購入電力削減		・冷暖房管理 夏26℃ 冬24℃	全従業員	○
			・待機電力、不使用時の電源オフ	全従業員	○
			・不要照明の消灯の徹底	全従業員	○
			・中間処分施設機械稼働時間管理	統括部長 処理課	○
			・二酸化炭素排出係数の低い電力会社の選定、利用	統括部長 処理課	○
	②化石燃料削減		・エコドライブの徹底	各運転手	○
			・アイドリングストップ	各運転手	○
			・効率的なルートの選択	各運転手	○
			・燃費データの把握	収集運搬課 課長	○
			・タイヤ空気圧の定期点検	各運転手	○
			・作業場重機のアイドリングストップ	各運転手	○
			・無駄な操作、動作厳禁 (作業場内)	各運転手	○

《工事事業部》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	実行者	2023.5～ 2024.4
【1】二酸化炭素排出量の削減	①化石燃料削減	 	・エコドライブの徹底	各運転手	○
			・アイドリングストップ	各運転手	○
			・効率的なルートの選択	各運転手	○
			・燃費データの把握	産廃事業部 収集運搬課 課長	○
			・タイヤ空気圧の定期点検	各運転手	○
			・作業場重機のアイドリングストップ	工事事業部 及び 協力会社	○
【2】廃棄物削減	現場における廃棄物分別の徹底	 	・廃棄物分別方法の講習実施	工事事業部 部長	○
			・廃棄物分別方法の表示	工事事業部 部長	○

8-② 問題点の是正及び予防処置の結果

a) 取組項目別

《産廃事業部・総務課》

環境目標	取組項目	環境活動計画	問題点	是正及び予防処置
【1】リサイクル率の向上	①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	・リサイクルルートの確保	受け入れ停止等の緊急時に搬出先が限られてしまう	日頃より統括、営業部門、解体部門による情報収集の徹底。
		・受託産業廃棄物の分別の徹底		新入社員の教育を実施。更なる向上を目指しマニュアル作成中。
		・顧客への分別提案	分別を提案することによりコンテナ個数が足りなくなる可能性がある	価格提示と同時に実施をしてコンテナの増設を経費に組込む
		・毎月のリサイクル率把握		毎月のタスクとして実施。HPIにて公開中。
【2】がれき処理1t当たりの水道水使用量	水使用量の削減	・「節水」の表示	引き続き、近隣への粉塵対策のため破砕機使用時に常時散水を行っているため、がれきの搬入量と比例して水道水使用が増加する。電池類選別により火災事故等を未然に防ぎ水使用量を下げる努力に努める	各水道に「節水」の表示済み
		・節水こまの設置		各水道に設置済み
		・水漏れ点検の実施		点検表の確認を朝礼にて毎日実施
【3】環境資源削減	①紙使用量削減	・コピー用紙の両面使用		両面印刷可能なコピー機と片面刷りプリンターでコストに差がある為、コスト重視で片面プリンターを多用している。
		・裏紙使用の徹底		呼びかけを実施。
		・ペーパーレス化		今後、将来的には請求書発行なども電子化することを今後の課題としていく必要がある。
	②事業系一般廃棄物排出量削減	・リサイクルボックスの設置・利用		分別の呼びかけ
【4】二酸化炭素排出量の削減 水使用量の削減	①購入電力削減	・冷暖房管理 夏26℃ 冬24℃		設定温度の表示
		・待機電力、不使用時の電源オフ		電子機器（日本テクノスマート時計）による使用量のアラームを設定、節電の徹底を呼びかけ。
		・不要照明の消灯の徹底		
		・中間処分施設機械稼働時間管理		日報による稼働時間の記録を行っている。
		・二酸化炭素排出係数の低い電力会社の選定、利用		全従業員による情報収集と呼びかけ
	②化石燃料削減	・エコドライブの徹底	化石燃料価格上昇	化石燃料価格上昇などの情報毎月更新して従業員に伝え、給油所各社の単価表を毎月掲示し価格の安い店舗での給油を努力義務としている。
		・アイドリングストップ	化石燃料価格上昇	
		・効率的なルートの選択		収集運搬部門ミーティングで情報の共有、新人教育を実施しより効率的なルートの確保。
		・燃費データの把握		燃費データを月初めに集計し回覧をしている。燃費の悪かった車両に関して、収集運搬部門ミーティングで原因の追究と対策。計画的に車両の入替を検討。
		・タイヤ空気圧の定期点検		定期点検とバンク修理時に確認。
		・作業場重機のアイドリングストップ	化石燃料価格上昇	朝礼等で周知・徹底する。
		・無駄な操作、動作厳禁（作業場内）		朝礼等で周知・徹底する。

《工事業部》

環境目標	取組項目	環境活動計画	問題点	是正及び予防処置
【1】二酸化炭素排出量の削減	①化石燃料削減	・エコドライブの徹底	昨年同様、重機使用の大規模工事が増加傾向にあり、下請け業者を含めて教育の不徹底が見受けられる。	各ドライバーにアイドリングストップ等を順守してもらい、効果が出ているが、さらにアイドリングストップ等を意識し、また効率的なルート選択をしてもらい、燃費向上して二酸化炭素排出量削減に努める。 売上と利益のバランスを考えて、現場排出の産業廃棄物収集運搬業務の自社業務化と下請業者への委託のバランスを取る。
		・アイドリングストップ		
		・効率的なルートの選択		
		・燃費データの把握		
		・タイヤ空気圧の定期点検		
		・作業場重機のアイドリングストップ		
		・無駄な操作、動作厳禁（作業場内）		
【2】廃棄物削減	現場における廃棄物分別の徹底	・廃棄物分別方法の講習の実施		協会安全ミーティング時に講習会を実施する。
		・廃棄物分別方法の表示		廃棄物分別表をラミネート作成し、各現場に設置する。

b) 全体

・昨年ご指摘頂いた、全社の二酸化炭素排出量を作成（今年度を基準として来年度以降削減に努める）、中期目標を3年後まで作成と環境活動計画の個人名を無表記 ・車両（トラック・重機）入替を推進し、アイドリングストップや節電等を徹底して二酸化炭素排出量を全社員で抑えていきたい ・紙使用量削減において複合機のソフトを導入し、PCから直接FAXを送信できるようにした結果、使用量を削減することが出来た。				

8-③ 2024年度 環境活動計画表
《産廃事業部・総務課》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	実行者	2024.5～2025.4実施スケジュール											
					2024.5	2024.6	2024.7	2024.8	2024.9	2024.10	2024.11	2024.12	2025.1	2025.2	2025.3	2025.4
【1】リサイクル率の向上	①受託産業廃棄物のリサイクル率の向上 ②受託産業廃棄物(廃プラスチック類)のリサイクル率の向上	  	・リサイクルルートの確保	統括部長 業務課												
			・受託産業廃棄物の分別の徹底	統括部長 業務課												
			・顧客への分別提案	統括部長 業務課												
			・毎月のリサイクル率把握	統括部長 業務課												
【2】がれき類処理1 t 当たりの水道水使用量	水使用量の削減		・「節水」の表示	統括部長 業務課												
			・節水こまの設置	統括部長 業務課												
			・水漏れ点検の実施	統括部長 業務課												
【3】環境資源削減	①紙使用量削減	  	・コピー用紙の両面使用	全従業員												
			・裏紙使用の徹底	全従業員												
			・ペーパーレス化	全従業員												
	②事業系一般廃棄物排出量削減		・リサイクルボックスの設置・利用	総務課 課長												
【4】二酸化炭素排出量の削減 水使用量の削減	①購入電力削減	 	・冷暖房管理 夏26℃ 冬24℃	全従業員												
			・待機電力、不使用時の電源オフ	全従業員												
			・不要照明の消灯の徹底	全従業員												
			・中間処分施設機械稼働時間管理	統括部長 業務課												
	②化石燃料削減		・二酸化炭素排出係数の低い電力会社の選定、利用	統括部長 業務課												
			・エコドライブの徹底	各運転手												
			・アイドリングストップ	各運転手												
			・効率的なルートの選択	各運転手												
			・燃費データの把握	業務課 課長												
			・タイヤ空気圧の定期点検	各運転手												
			・作業場重機のアイドリングストップ	各運転手												
			・無駄な操作、動作厳禁(作業場内)	各運転手												

《工事業部》

環境目標	取組項目	SDGs	環境活動計画	実行者	2024.5～2025.4実施スケジュール											
					2024.5	2024.6	2024.7	2024.8	2024.9	2024.10	2024.11	2024.12	2025.1	2025.2	2025.3	2025.4
【1】二酸化炭素排出量の削減	①化石燃料削減	  	・エコドライブの徹底	各運転手												
			・アイドリングストップ	各運転手												
			・効率的なルートの選択	各運転手												
			・燃費データの把握	産廃事業部 業務課 課長												
			・タイヤ空気圧の定期点検	各運転手												
			・作業場重機のアイドリングストップ	工事業部 及び 協力会社												
			・無駄な操作、動作厳禁(作業場内)	工事業部 及び 協力会社												
【2】廃棄物削減	現場における廃棄物分別の徹底	 	・廃棄物分別方法の講習実施	工事業部 部長												
			・廃棄物分別方法の表示	工事業部 部長												

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価及び違反、訴訟等の有無

作成日： 2024年 4月 25日

① 環境関連法規等の遵守状況の確認

毎年4月末に対象法規制を見直す

廃棄物の収集運搬・処理・リサイクル法令									
環境法規制等の 名称/略称	規制内容			実 施		文書・記録 (例)【有資格 者等】	確認		
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	承認				
廃棄物処理法	産業廃棄物 収集運搬業 (届出は各県知 事)		各許可証通り	処理基準遵守	○		8/9	12/7	4/25
				契約書の締結	○		8/9	12/7	4/25
				マニフェストの確認処理	○	B 2票を10日以内に 排出事業者に送付	8/9	12/7	4/25
				年間報告	○	毎年6月までに前年 分の報告をする	4/30に 提出		
				マニフェストの 保管	○	B 1票、C 2票の5年 間の保管、帳簿データ の保管	8/9	12/7	4/25
				許可の更新	○	5年毎の更新 更新前の法定講習の 実施	8/9	12/7	4/25
				変更時の届出	○		8/9	12/7	4/25
				変更時の届出	○		8/9	12/7	4/25
	産業廃棄物 処分業 (届出は静岡県 知事)		許可証通り	処理基準遵守	○	年間報告から 処理能力範囲内で あることの確認	毎月照合		
				契約書の締結	○	マニフェストから 契約書の照合確認	8/9	12/7	4/25
				マニフェストの確認処理	○	運搬受託者へ10日 以内にC 2票の返 却、排出事業者へD 票を90日以内に返 却、E 票を180日以 内に返却	8/9	12/7	4/25
				年間報告	○	毎年6月中に前年分 の報告をする	5/上旬に 提出		
				マニフェストの 保管	○	C 1票の5年間の保 管、帳簿データの保 管	8/9	12/7	4/25
				許可更新	○	5年毎に更新 更新前の法定講習の 実施	8/9	12/7	4/25
				変更時の届出	○	変更届の確認	8/9	12/7	4/25
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例【条例第10号】	産業廃棄物処理の委託先の実地確認、記録、保存	静岡県の排出事業者	静岡県の排出事業者	委託契約締結前の受託業者への実地確認	○	確認の結果を記録	8/9	12/7	4/25
				契約後、毎年1回以上の処理状況の確認	○	確認の結果を記録	8/9	12/7	4/25
				処分場視察記録の保存	○	5年間の保存	8/9	12/7	4/25
				排出事業者の実地確認の受入	○	排出事業者の実地確認受入の記録	8/9	12/7	4/25
産業廃棄物管理票《マニフェスト》の交付状況報告	産業廃棄物収集運搬業・処分業（届出は県知事又は市長）	マニフェスト発行業者		年間報告	○	毎年6月30日までに前年分の報告をする	4/30に提出		
家電リサイクル法	小売店資格取得 R4・3/4～	特定家庭用機器	テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機以上 4種類	家電リサイクル券購入後小売店へ排出	○	伝票の管理・置場の管理	8/9	12/7	4/25

公害 ・ 環境法令									
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実 施		文書 ・ 記録 (例)【有資格者等】	確認		
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	承認				
水質汚濁防止法	産業廃棄物の中間処理	油水分離槽		基準値遵守	○	水質汚濁に関して近隣の方から指摘を頂いた場合にのみ計測をする	8/9	12/7	4/25
騒音規制法	産業廃棄物の中間処理	破砕施設	基準値 55デシベル以下	基準値遵守	○	騒音に関して近隣の方から指摘を頂いた場合にのみ測定をする	8/9	12/7	4/25
振動規制法	産業廃棄物の中間処理	破砕施設	基準値 65デシベル以下	基準値遵守	○	振動に関して近隣の方から指摘を頂いた場合にのみ測定をする	8/9	12/7	4/25
浄化槽法	産業廃棄物の中間処理	分離接触バッキ 浄化槽	基準値遵守	基準値遵守	○	3ヶ月1回 保守点検 1回/年 清掃 特定業者作業 維持管理表を保管	8/9	12/7	4/25
浄化槽法	産業廃棄物の中間処理	浄化槽法定 (11条検査)	基準値遵守	基準値遵守	○	1年1回 法定検査業者 検査実施報告書を保管	7/10		
悪臭防止法	産業廃棄物の中間処理	中間処理施設	基準値遵守	基準値遵守	○	臭いに関して近隣の方から指摘を頂いた場合にのみ測定をする	8/9	12/7	4/25
フロン排出抑制法	産業廃棄物の中間処理	車両建設機械 業務用エアコン	機器点検の実施	点検記録の保存	○	3ヶ月に1回以上の点検実施。点検記録簿の保存。	8/9	12/7	4/25
フロン排出抑制法	第一種フロン充填回収登録業者	CFC, HCFC, HFC	機器点検の実施	取引証明書の交付・保存	○	取引証明書確認	8/9	12/7	4/25
廃棄物処理法 (水銀使用製品 廃棄物)	産業廃棄物の収集運搬・ 中間処理	収集運搬車両 中間処理施設	水銀使用製品 産業廃棄物	ガイドラインの遵守	○	マニフェストの確認処理	8/9	12/7	4/25
建築物石綿含有建材調査者	各解体現場	各解体現場	石綿含有建材	基準値遵守	○	元受けへ調査票提出	8/9	12/7	4/25
NOx・PM法	産業廃棄物の収集運搬・	収集運搬車両	車種規制対策地域	運搬車両登録	○	車検証・車両一覧	8/9	12/7	4/25
その他関連法令									
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実 施		文書 ・ 記録 (例)【有資格者等】	確認		
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	確認				
建設リサイクル法	建築物等の解体 届出は各市町村	一定規模以上の建築物等に関する 建設工事		特定建設資材を 分別解体等により 現場で分別する	○	届出書類 控えの保管	8/9	12/7	4/25
騒音規制法	建設作業 届出は各市町村	道府県知事が指定 する規制地域で特 定建設作業を行う 場合	85デシベル以上の 騒音を発生する特 定建設作業	日曜・休日に作業を 行わない、近隣に十 分な説明を行う。	○	現時点で該当工事無	8/9	12/7	4/25
盛土条例	産業廃棄物の 中間処理	砕石販売・工事部 土木工事等	1000m ² 以上の保 管・覆土・盛土等	砕石搬出ロット毎の 分析依頼	○	分析表保管	8/10	1/18	4/25
その他関連法令									
環境法規制等の名称/略称	規制内容			実 施		文書 ・ 記録 (例)【有資格者等】	確認		
	届出、作業等	適用範囲	適用条件	手続き・遵守事項	確認				
道路運送車両法	収集運搬車両等の 点検メンテナンス		法定点検 6ヶ月点検 12ヶ月点検 24ヶ月点検	点検記録票の保管	○	3年間の保管	8/9	12/7	4/25
道路交通法	アルコールチェッカー 義務化	白ナンバー（営業 車）運転対象者	安全運転管理者の 選任を必要とする5 台以上保有する事 業者	業務開始アルコール テスト計測後、記 録表・保管	○	1年間の保管	8/9	12/7	4/25
労働安全衛生法	車両建設機械、 リフト等の点検 メンテナンス		法定点検 始業検査 月次検査 年次検査	始業前点検簿の 記入	○	日々の始業前に 目視確認 3年間の保管	8/9	12/7	4/25
				点検記録票の保管	○	3年間の保管	8/9	12/7	4/25

② 環境関連法規等の遵守状況の評価

関連法規等の遵守状況の評価の結果、法規制等の逸脱は有りませんでした。

③ 違反、訴訟等の有無

過去3年間にわたって違反や訴訟はありませんでした。

10. 代表者による全体の評価と見直し指示

《 適切性、妥当性、有効性の評価 》

実施 2024 年 5 月 30日

環境経営システム有効性評価	環境管理者よりの報告内容・提案	代表者からの指示事項
	取組状況の評価結果 ① 環境関連法規制遵守状況 2024年4月25日遵守状況確認 確認結果：遵守されている ② 是正処置・予防処置 有り 新年度より中期環境目標数値を変更 受託産業廃棄物(全体)のリサイクル率の向上率 ③ 各部門取組状況 各部門計画通り	① 法規制の遵守を評価し、今後も確認を怠らないこと。 ② 各担当者に是正措置・予防措置の周知徹底をさせるため、毎月開催される各部署の会議にて各月の達成状況の報告と未達成の場合は是正事項を確認すること。 ③ 毎月開催される幹部会にて、各部門の責任者が取組状況を報告し、改善事項等があれば、各部門担当者に指示すること。
取組の適正の評価	目標・活動計画の達成状況 ・目標達成状況の報告 ①受託産業廃棄物（全体）のリサイクル率向上率が3%未満未達 ②がれき処理1t当りの水道水使用量が-22%未達 ③工事部門の二酸化炭素排出量、軽油使用量 ・活動計画の達成状況 概ね達成	公共工事の減少による再生砕石の大幅な需要減少により、がれき類より製造される再生砕石のリサイクル率が大幅な減少となった。これは、日本全体が抱える問題で個々の業者だけで解決できる問題ではない。少しでも良質な再生砕石を製造すること、および定期的な分析調査をして利用者に安心感をもってもらうこと等を地道に続けて、販路の確保に努めること。ただし、状況が改善される見込みが薄いため、この項目の環境目標数値は、新年度より2023年度を基準として横這い傾向とすること。 公共工事の減少に伴い、がれき類処理量が減少したが、その分、民間での使用量が増加した。民間での使用に際しては粉塵の発生を嫌うため、客先の要請により、散水量を増やさざるを得なかった。この傾向は続くものであることから、来年度は目標を実状に合わせて、取り組むこととする。 利益確保のため、下請業者に委託していた現場排出の産業廃棄物収集運搬業務の一部を自社で行ったため、売上に比して軽油使用量が増加した。売上と利益のバランスの推移を月締めで検討し、必要に応じて翌月の収集運搬方法を変更すること。また、この状況が続くならば、目標を実状に合わせて変更すること。
外部環境変化への対応	法規制の改正対応および その他要求事項対応・他	① 静岡県盛土条例に基づき、再生砕石の販売において有害物質の定期測定等適切な対応ができてよかった。引き続き適切な対応をすること。 ② アスベスト対策に関する各法令の施行に基づき対応を行い、期中にて微調整を行い、より良い対応のための仕組みづくりができた。引き続き、その仕組みが潤滑に運用されるように努力してほしい。

代表者による指示

- ・再生砕石については、情報収集を行い、少しでもリサイクル品として搬出すること。
- ・新年度に、「木くずの専用破砕施設」を導入し、リサイクルする木くずの品質向上を目指すため、関係者は導入および施設の運用習熟に尽力すること。
- ・SDGsの取り組みについて、具体的な内容を順次、検討していくこと。
- ・環境活動計画・実施体制は、本報告書のとおりに実施すること。

※ 代表者による全体の評価と定期的な見直しは毎年5月に実施する。

11. 地域貢献奉仕活動の記録

実施日 及び作業内容	2024年3月29日	前面公道法面の草刈		
	2024年4月19日	前面公道の清掃		
作業指示者	産廃事業部統括部長			
作業者	産廃事業部	7名		
作業風景	<除草後>			



<道路清掃中>



コメント

地域貢献奉仕作業として、毎年恒例の工場付近の公道の清掃作業と、工場前の公道(法面)の除草作業を行いました。
 今年は、清掃箇所を増やしました。普段拾わないようなゴミも回収出来たので来年も継続して行いたいです。

12. グリーン購入推進



2024年1月に重機を入れ替え、使用燃料を重油から軽油へ切り替えたことで
二酸化炭素排出量を抑えることができました。

2024年6月にトラックの入替予定があり、
燃費の向上や二酸化炭素排出量の削減にさらに期待できる。

運搬車の排出ガスレベル	台数	割合 (%)
全保有台数	17	100%
①平成17年規制適合車	1	6%
②平成19年規制適合車	2	12%
③平成21年規制適合車	1	6%
④平成22年規制適合車	5	29%
⑤平成28年規制適合車	8	47%
	④+⑤	76%
目標 ④+⑤適合車割合		95%以上

運搬車の燃費低減レベル	台数	割合 (%)
全保有台数	17	100
①平成17年度燃費基準達成車	0	0
②平成22年度燃費基準達成車	0	0
③平成27年度燃費基準達成車	16	94%

目標 ③適合車割合	90%以上
-----------	-------